

Ⅱ 委員会活動から Ⅱ

有資格者増強委員会(北海道技術士センター)

【第二次試験対策(20 部門) 経験問題の添削指導(3 カ月半実施)】

【総合技術監理部門 講習会(6 月 18 日開催)】

【第一次試験対策講習会(7 月 2 日開催)】

当委員会の主行事である技術士試験対策講習会として、第二次試験・総合技術監理部門の講習会を6月18日(土)～建設会館、第一次試験は7月2日(土)～建設会館でそれぞれ実施いたしました。

また、技術士第二次試験の総合技術監理部門を除く20部門に関する経験問題の添削指導を4月1日～7月中旬迄、約3カ月半実施いたしました。以下にはこれらの概要について報告いたします。

1. 技術士第二次試験対策の概要報告

(1) 1～20 部門の経験問題添削指導

今年も昨年度同様、講習会は実施せず、経験問題の添削指導についてのみの実施といたしました。添削受付も昨年度に引き続きホームページによって3月から随時可能とし、添削実施期間は4月1日～7月中旬迄、約3カ月半といたしました。また、今年度新たな試みとして「一般問題の傾向と分析資料」を委員会メンバーや添削実施者の協力を得て作成し、論文申込者に限り配布いたしました。

添削結果は以下のとおりですが、全体で25名と昨年度より5名減少しました。部門毎の特徴としては、例年申し込みが比較的少ない農業部門(農業及び畜系)や情報システム、またこれまでに無かった化学部門での申し込みがあるなど、例年にない傾向が見られました。これは技術士資格の認識が多分野に渡ってきたことの証と思われます。また、「一般問題の傾向と分析資料」は、有資格者の貴重な経験談を基に作成されており、各分野とも市販してもおかしくない程立派なものが出来ており、配布者からは非常に好評でした。添削指導と合わせて、一般問題資料作成に協力頂いた技術士の方々にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

■添削受付者(延べ): 25 名

その内、建設部門: 14 名、農業部門: 6 名、
上水道部門: 1 名、衛生部門: 2 名、
化学部門: 1 名、情報部門: 1 名

■添削受付者(2 回申し込み): 2 名

■添削協力技術士: 16 名

(2) 総合技術監理部門の講習会

総合技術監理部門は、昨年度の情報交換会から一歩進めた講習会という積極的な形で受講者にアドバイスを行う場といたしました。

詳細は以下のとおりですが、当日は昨年と同等の24名の参加があり、2名の委員会メンバーから体験談として当日までの勉強法や合格のポイント等を講演いたしました。その後、参加者から予想問題と模範解答の要望が出たため、後日委員会メンバーにて資料を作成し、受験者にメールにて配信いたしました。

今回の講習会では、受講者から積極的な質問が出され、今後の講習会のあり方を示唆する等、参加者はむろんのこと我々委員会にとっても非常に有意義な講習会であったと考えております。

■日時; 6月18日(土) 15:00～17:00

■場所; 北海道建設会館

■プログラム;

①『体験談その1』; 大井条司(総監/建設)

②『体験談その2』; 川野恭司(総監/農業)

■参加者

受講者; 24 名、委員会メンバー(10 名)

(文責: 黒沢 弘行)



【開講挨拶】



【司会者挨拶】



【講演その1】



【講演その2】

2. 技術士一次試験対策分科会報告

有資格者増強委員会では、平成17年7月2日(土)、北海道建設会館にて、第4回技術士第一次試験講習会を開催いたしました。

より実践に近い形での講習会を目指し、これまで部門別にオリジナル演習問題を作成しておりましたが、今年はさらに要望の高かった基礎科目についても、オリジナル演習問題を作成いたしました。

講習時間内に演習時間を設け、実際に設問を解くことで、問題への理解も深まったものと確信しています。

(1) 講習内容

- ・技術士制度について：斎藤委員長
 - ・基礎・適性科目の演習と解説（向井委員 他）
 - ・専門科目の演習と解説（沖崎委員 他）
- 開講部門は、建設、上下水道、農業、応用理学、環境の5部門

演習問題作成及び当日の講師には、北海道技術士センター会員の方にもご協力頂きました。本書面を借りてお礼申し上げます。

(2) 受講者数

当日の受講者数は、88名(建設66名、上下水道5名、農業12名、応用理学2名、環境3名)と、昨年の223名から大きく減少しました。平成16年度第一次試験における合格率(対受験者合格率)が、52.3%(技術士会発表資料)と高かったことも要因の一つと考えられます。

おわりに

平成15年度から第二次試験の受験にあたり、第一次試験の合格が義務付けられています。

近年は、受験者数が増加する一方で、対受験者合格率も50%を超過する状況となっています。

また、JABBEの認定校の卒業生増加と相まって、

第一次試験の受験者数は今後減少していくものと予想されます。

第一次試験に合格することは、技術者として一定の地位を保持するための必須条件となることは間違いなく、できるだけ早いうちに合格されるよう、当委員会としても今後の講習会のあり方について検討

を進めていく予定です。

本号が発行される頃には、一次試験は終了していると思いますが、講習会を受講された皆様にとって、この講習会が有意義なものであったことを願っています。

(文責：中山 亮)



【共通項目の全体講習】



【建設部門全体講習】



【専門科目の講習】



【専門科目の講習】